

農業現場の外国人労働

～フェーズII:変わるリアルと次の一手～

西山直司氏は、1984年に静岡大学を卒業後、地元の愛知県田原市で家業を継いで就農。以降、露地野菜を中心とした農業を営む。

近年はスイカとダイコンを中心に合わせて延約12ヘクタール作る。ダイコンは切り干し大根パックに加工して販売。

母親の病気をきっかけに、2009年から外国人技能実習生の受入れを始め、これまでに5カ国から20人以上の実習生を受け入れる。

現在は特定技能の外国人4人と技能実習生2人を雇用中。その経験から、制度や手続きの問題、関係団体の動き、そして外国人労働者と受入農家双方の気持ちに詳しい。

今回は、特定技能制度の発足によって現場や環境がどう変わりつつあるか、現在の姿と課題や展望についてお話しいただく。

なお、西山氏は、田原市（農業産出額全国2位）の中核農家等が作る「農業懇話会」の会長、愛知みなみ農協の非常勤理事。昨年度大日本農会の緑白綬有功章を受章。

開催日時 令和 **8** 年 **9** 月 **28** 日（月） **13:30~15:30**

講師 西山農園代表
西山 直司（にしやま なおし）氏

会場 日本農業研究会館 1階会議室＋オンライン（Microsoft Teams）
東京都千代田区紀尾井町 3-29

お申込み 以下のフォームよりお申込みください（当研究所 HP 上のリンクからもアクセスできます）
<https://forms.gle/RK1QbdQDoiiXpSdX9>
9月24日（木）13:00 締切
定員に達し次第、早期に締め切る場合がありますのでご了承ください

※当日の内容により、タイトルが若干変更となる場合がございます

公益財団法人 日本農業研究所

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町 3-29

日本農業研究会館

HP ▶ <http://www.nohken.or.jp/>

（お問合せ先）

E-mail ▶ kouenkai@nohken.or.jp

TEL ▶ 03-3262-6351 FAX ▶ 03-3262-6355